
他 人 の 空 似

紅満 絢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

他人の空似

【Nコード】

N4555J

【作者名】

紅満 絢

【あらすじ】

あたしは

大切な人の代わりにはなれないよ…

「あたしじゃミツバさんの代わりにはなれない ごめん、別れよう」
「…!!」

彼の見開いた目を見ぬフリをして私は学校の裏庭を駆け抜ける

言ってしまった…

そう実感して、涙があふれる
別れたくなかない…

でも…でも仕方ないじゃない

あたしは…これ以上辛い思いはしたくないの

クリーム色の短い髪に、少し赤の入った瞳
小さいころから、周りから「美人」といわれ続けてきたから
少なくとも「ブサイク」なんて認識はこれっぽっちもなかった

友達からの印象も「おしとやか」とか「大人」とかそんな感じで、
好印象以外は持たなかった

そのまま大した苦勞もせず高校に入学して、ある出会いに恵まれた

「沖田総悟」

あたしは一発で彼に惚の字

…つまり、一目惚れだ

彼はあたしと同じクリーム色の髪に、真っ赤な紅眼

一目見れば兄弟かと勘違いされるような、すごくそっくりだと友達
から言われ続けた

…けどあたしは

そうは思えなかった

自分は彼に釣り合えない

彼の無意識に身から出ているオーラには　そう感じさせる何かがあ
った

それでも諦められずに、ダメ元で…

「私…沖田君の傍に居たい」

我ながら　何てベタな告白を…なんて思ったけど

「いいですね　一生俺の傍に置いてやりませう」

彼の返事にあたしは喜びで胸が弾んだ

でもこのとき気付くべきだったんだ
彼があたしのこと、恋愛対象としては見ていないって事に…

次の日、あたしたちが付き合っているという噂は学校中に広まった
彼の顔の広さには…これだから恐れ入る

僻む女子に陰口言われたり 嫌がらせされたり…勿論沢山あったけど
自分の本当の友達と…当然彼が守ってくれたし…
それに彼の彼女はあたしだって、ちゃんと自信がもてたからそんな
の怖くなかった

ところが嫌がらせがなくなったところ…
ある噂が立ち始めた

「総悟の彼女って、アイツの姉貴にそっくりだよなあ…」
「…」

無言になった
そりゃ当然、傷ついたから

その後噂してた男子を近藤君と土方君が懲らしめてたけど…
心の中のもやもやが取れることはなくて。

それからしばらくたった…日付は今日。時刻はさつき

裏庭で相変わらず個性的なアイマスクをつけて寝ている彼を見かけ

「ふふ…総ちゃんてば いつもお寝坊さんのね」

声をかけて近づくと彼はアイマスクを取る
そして…半寝ぼけのトロ目でこう言った

「姉…上…?」

「-…」

一瞬、時間が止まったような気がした
でも瞬時に現実に取り戻される

ああ、彼はやっぱり…

「総ちゃん…あたしは姉上じゃないよ」

「んあ…? ふあ…よく寝たぜい　．．あれ　むかえ来てくれた
んですかい?」

何事もなく、きょんとした総悟

彼のことは大好き

だけど…どうしても、絶えられなかった

「ねえ、総ちゃん」

「…ん？」

「あたしじゃミツバさんの代わりにはなれない　ごめん、別れよう」

「…！！」

今までの記憶が、新鮮に脳裏によみがえる

それだけで涙が止まらなくて、結局その場で泣き崩れる

どうして…どうして…

「…おい！！！」

「……!!」

と。

その時間こえたのは今、聞きたくてたまらない声だった

振り返れば彼が立っている

…どうして？

「あの…総ちゃ…」

「俺のシスコン魂なめんじゃねーでさア」

「…え？」

シスコン…？

「あの姉上と他人重なる程俺もバカじゃねーって言ってるんでイ
大体、あれほど出来た人間が他に居るとは思えねエ 俺の姉上は、
世界でたった一人でさア」

「…っ」

「…あんたと姉上は似てても個別の人間 それこそ？他人の空似？
ってやつでさア それを一緒にしちゃアあんたも辛エでしょう」

「…そつか… そうだね 総ちゃんごめんなさい…」

「分かりやア良いんでさア」

まあ実際

彼女と姉上とでリンクしちまったのは事実で。

「沖田君の傍にいたい…」

？土方さんの傍にいたい…？

「もう…総ちゃんてば いつもお寝坊さんなのね」

？もう…総ちゃんてば そんな

なに寝てばかり居ちゃダメよ？

「総ちゃん!!」

？総ちゃん？

でも…いい加減フツ切んねエとな…
もうアイツを悲しませずにすむように…

俺の姉上はあの方一人

そして

俺の彼女は アイツ一人だ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4555j/>

他人の空似

2011年1月26日23時16分発行